

事務所移籍のご挨拶

謹啓 盛夏の候、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私こと、本年7月1日よりプロアクト法律事務所にて執務することとなりました。

アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法事業共同に在職中は、皆様方に大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。

同事務所にはパートナーとして15年在籍し、銀行業、金融商品取引業、資産運用業、保険業、製造業、流通業、食品業、電力業等に関する企業法務や、非営利法人の法務を幅広く経験しました。この間、企業を取り巻く環境は激変しました。現在、上場企業・非上場企業及び非営利法人にとって最も大きな課題とされているのは、疑いもなくガバナンスとリスク・マネジメントです。パンデミックによるビジネスへの影響と ESG・SDGs の大潮流は、この傾向にますます拍車をかけております。

このような社会の進展の中で弁護士登録後40年を迎えた今、改めて初心に立ち返り、従来よりも少し自由に立ち回れる環境の中で、日本での21年の弁護士経験及び8年余のジェネラル・カウンスルの経験並びに米国での10年余のアメリカン・ロウヤーの経験の集大成として、これらの課題に一層注力することで社会に貢献したいと考え、プロアクト法律事務所に移籍させていただきました。具体的には、従来から取り組んでいるガバナンス、コンプライアンス、金融規制、会社法務、公益法人法務、医療法人法務の分野にさらに取り組み、会社訴訟、証券訴訟といった分野も積極的に取り扱っていきたいと考えております。また、社外役員・各種外部委員としての仕事もしっかりと務め、ガバナンスを自ら実践していこうと思っています。

人生100年の時代といわれますが、元気で活躍できる時間がどれくらいあるかは神のみぞ知るです。しかし、その限られた時間の中で、弁護士として、またビジネスアドバイザーとして、社会のお役に立つことが少しでもできれば、弁護士生活も悔いなきものとなると信じ、頑張ってます。今後とも皆さまのご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。

謹 白

2021年7月吉日

弁護士・ニューヨーク州弁護士 池 永 朝 昭
ti@proactlaw.jp